

令和 6 年 度

# 普通会計決算認定特別委員会説明資料

徳島県警察本部

# 目 次

I	令和6年度警察本部主要施策の成果の概要	3
II	主要事業の内容及び成果	5
III	歳入歳出決算額	7
1	一般会計決算額	7
	(1) 歳入決算額	7
	(2) 歳出決算額	7

# I 令和6年度警察本部主要施策の成果の概要

## 第1 身近な犯罪の抑止

刑法犯認知件数は、平成16年以降減少や横ばいを続けてきたところ、令和5年以降は増加し、令和6年中は2,952件と、前年と比較して10.4%増加するなど、今後の動向について注視すべき状況にある。

県警察では、地域の治安情勢に即した効果的な犯罪抑止対策を推進したほか、ストーカーや児童虐待事案等の女性や子供が被害に遭う人身安全関連事案に対しては、被害者の安全確保を最優先とした早期の対応に努めた。

## 第2 重要犯罪等の徹底検挙

殺人、強盗等の重要犯罪を認知した際には、より多くの捜査員を投入し、現場における鑑識活動を徹底するなど迅速的確な初動捜査を徹底し早期解決を図った。

また、幅広い年齢層に被害が広がっている特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺事件に対しては、関係被疑者の検挙や犯行グループの実態解明に向けた捜査を展開したほか、県民の抵抗力を高める啓発活動や金融機関等と連携した対策を推進した。

## 第3 交通死亡事故の抑止

令和6年中の交通事故発生状況は、前年と比較し交通事故発生件数、負傷者ともに減少したものの、交通事故死者数は33人と、前年と比較して5人増加した。

県警察では、関係機関・団体と連携して、高齢者の交通事故防止、夜間歩行者の安全確保、通学路の交通安全対策等を推進し、交通死亡事故の抑止に努めた。

## 第4 大規模災害、テロ等への対処

今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震をはじめ、あらゆる自然災害に的確に対処できるよう、県警察では自治体や防災関係機関等と連携した訓練を重ね、災害時における対処能力の向上に努めたほか、近年の国際テロ情勢等を踏まえたテロの未然防止に向けた諸対策を推進した。

## 第5 組織基盤の強化

情勢の変化と組織の現状を俯瞰的に分析し、部門を超えたりソースの重点化や先端技術の活用等による警察活動の更なる高度化等に努め、警察力全体の最適化を図った。

また、「徳島県警察・地域警察再編計画」に基づく交番・駐在所の再編については、地域の実情や県民のニーズ等を踏まえながら着実に推進した。

## II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

事業名	事業内容及び成果
「徳島県警察・地域警察再編計画」推進事業	<p>変化する地域・治安情勢等に的確に対応するため、藍住町役場敷地内に県下最大級となる「大型交番」を整備したほか、山間・沿岸部における治安・防災の活動拠点として、自治体や関係団体と連携した「駐在所」を整備した。</p> <p>また、これら施設については、「脱炭素社会」実現のため、環境配慮型の「ZEB」施設として整備した。</p> <p style="text-align: right;">(154, 730)</p>
先端技術の導入による情報収集・分析能力強化事業	<p>SNSで特殊詐欺等の実行犯を募集する手口や、SNSを介して子供が被害者となる犯罪が深刻化する中、限られたリソースで迅速・的確に事件解決を図るため、主要SNSの違法有害情報を「AI」により検出する先端技術を導入し、警察活動の基盤となる情報収集・分析能力を強化した。</p> <p style="text-align: right;">(2, 640)</p>
犯罪捜査基盤整備事業	<p>効率的な捜査の推進と防犯カメラ映像の解析能力向上のため、捜査手法の高度化や捜査支援のための捜査基盤の強化を図った。</p> <p style="text-align: right;">(2, 310)</p>
交通安全施設整備事業	<p>安全で円滑な交通環境を確保するため、信号機や道路標識をはじめとする「交通安全施設」の計画的な整備や維持管理を実施した。</p> <p>また、安全で円滑な道路環境の実現のため、ゾーン30プラスの設置や、交通管制システムの高度化更新を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(714, 322)</p>
警察施設防災機能強化事業	<p>南海トラフ巨大地震等、各種災害に備えるため、防災拠点である警察庁舎の防災機能を強化した。</p> <p style="text-align: right;">(118, 281)</p>

(単位：千円)

事業名	事業内容及び成果
阿波吉野川警察署整備事業	<p>県央部の治安・防災拠点となる「阿波吉野川警察署」について、「警察力を最大限」発揮できる性能・機能を有した新庁舎整備を早急に実現するため、最新の「民間の知見やノウハウ」を導入し、基本構想策定業務等を実施した。</p> <p>(23, 401)</p>
警察施設長寿命化計画事業	<p>地域の安全・安心を確保する「防犯・防災拠点」である警察施設の継続的運用のため、警察本部庁舎、警察署、交番など、警察施設の長寿命化工事・修繕を中長期視点で計画的に実施し、行政コストの縮減・平準化と施設の質的向上を図った。</p> <p>(513, 515)</p>
サイバー空間の脅威に対する組織基盤強化事業	<p>極めて深刻な情勢が続く「サイバー空間の脅威」に迅速・的確に対処するため、捜査・解析用資機材の増強による「物的基盤の強化」や、最新のサイバーセキュリティトレーニングによる「人的基盤の強化」などを推進し、「企画・サイバー警察局」を中心とした組織基盤の強化を図った。</p> <p>(9, 355)</p>
リソースの重点化と業務集約による警察力強化事業	<p>今後直面する「人口減少・偏在化への対応」、「警察施設の老朽化」といった課題に的確に対応し、地域・治安情勢に応じた治安体制を維持するため、複数のインターチェンジと県内唯一の空港を管轄する「徳島板野警察署」へのリソースの重点化を図り、業務集約による合理化・効率化と県民の利便性向上を実現した。</p> <p>(36, 400)</p>
時代のニーズに適応する警察行政手続の更なるDX化推進事業	<p>行政サービスの更なる拡充と県民の利便性向上のため、「免許証・マイナンバーカードの一体化」、「更新時講習のオンライン化」を開始した。</p> <p>また、「申請自動受付機」導入による窓口事務・手続の合理化、免許システムの全国共通化など、窓口負担の軽減と財政負担に配慮した基盤整備を推進した。</p> <p>(224, 875)</p>

### Ⅲ 歳入歳出決算額

#### 1 一般会計決算額

##### (1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	1,910,879,000	1,754,898,570	1,753,405,471	0	1,493,099	△157,473,529

##### (2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	24,045,932,850	23,706,746,065	160,959,700	178,227,085	339,186,785